

## 2023年度（公財）加納美術振興財団事業報告

1. 本年度から新たに5年間の指定管理者の指名を受け、安来市加納美術館の管理運営を行った。
2. 展示などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、SNS（Instagram、Facebook、X（旧ツイッター）、YouTubeの配信、安来市行政告知放送、安来市報、電柱広告などにより行った。  
企画展ごとに、館内360度カメラで撮影（NCPに撮影・編集を依頼）し、ホームページで提供している。また、イベントの様相をSNSやホームページにて公開している。  
また、市民に向けて美術館の広報紙「美術館つうしん」を企画展ごとに発行（今年度は5回、通算10回発行）し、安来市内への新聞折り込み、パスポート会員等へ配布している。
3. 莞菴資料の整理及び保存も、島根大学の教授方に助言いただきながら進行中である。  
三島房夫氏と永井均氏による「邦訳 加納莞菴嘆願書」の出版ができ、10/25 記者発表、11/3 記念講演会及び祝賀会を開催した。  
出版ができたことで、安来市文化財指定を受けるための作業が進んだと思われたが、2023年度中の文化財指定には至らなかった。
4. 「加納莞菴平和国際交流基金」には、申請が4件あり、実行委員会承認のもと2件の助成を決定した。  
また、基金への寄付は、5名で68,000円だった。（別紙1）  
年度末基金残高は、4,445千円となった。
5. 2022年度から帝国書院発行の中学校社会科教科書（歴史的分野）に、加納莞菴の戦犯赦免活動について掲載されたが、2026年度改訂の同教科書にも継続して掲載が決定した。
6. 2023年が戦犯赦免70周年にあたり、7月フィリピンにて記念式典が行われ、理事長・名誉館長が招待を受け訪比した。その際、名誉館長が講演を行い、現地日本人会からの要請で再度11月講演会に訪比した。  
NPO法人比日連合財団事業の「キリノ大統領恩赦に対する顕彰碑建立計画」宛への用途指定の寄付を加納二郎氏から50万円、匿名希望者様から500万円を受け、うち50万円は当財団名で2月に送金を行った。（別紙2）（500万円は5月付けでフィリピンへ送金予定）
7. 2023年度実施した主な企画展及びイベント （別紙3-1, 2）
8. 美術館の主要な取り組み→癒しとくつろぎのある美術館を目指して。  
**(a) 展示**：年間来館者数は、5,448人、アウトリーチ（出前講座）は2,549人、合計7,997人、入館料収入は、3,306千円だった。（別紙4）  
**(b) 名碗を愉しむ会**：新型コロナウイルス感染症拡大予防のため本年度も開催を見送ったが、2024年度は開催の方向で検討中である。  
**(c) 接遇**：別館での抹茶のおもてなしは、新型コロナウイルス感染症の取扱いが5類相当になったことを受け、8月5日から再開し来館者におもてなしを行った。また、楽山焼展では、茶室で呈茶を行い、のべ290人（うち28人無料）の参加があった。ボランティアの協力（のべ35人）も得た。  
レストランやまさやを会場に「喫茶去」（茶話会）を企画し、地元住民他の参加を得て開催した。（4月～3月講師含め、のべ301人参加、のべ15回の開催）  
**(d) 館外からの協力**：ボランティアの方々より展示替え作業、作品収集他外部活動にご協力いただいた。

9. 役員会の開催（全て対面で開催）  
1. 理事会 5/20 2. 評議員会 6/24 4. 理事会 10/14 5. 理事会 3/2  
6. 加納莞菴平和国際交流基金実行委員会 3/27
10. 啓発・文化教育振興事業の推進  
**(a) アウトリーチ**：多様な団体、学校、公民館などと連携してアウトリーチ（出前講座）を実施した。（別紙5）  
**(b) 校外学習の受け入れ**：市内中学校5校の平和学習は、生徒・教員総勢325名の参加で実施された。小学校の平和学習として、布部小学校はじめ、市内外の学校から来館があった。  
また、小中学校の修学旅行の行先として当館が利用され、4校合同の小学校が当館を旅行の行程に取り入れ、平和学習を行った。前述を含め、小中学生の利用は、364人だった。（別紙6）  
**(c) 安来市平和のつどい**：9月17日布部ふれあい体育館で開催され、式典、あんどん展示、戦争遺留品展示、大型紙芝居『おこりじぞう』の公演、加納佳世子名誉館長が「フィリピンを訪問して」と題し講演、小学生・中学生による平和への想いや歌等の発表が行われた。当館は関連事業として、『四國五郎展 「シベリア抑留からおこりじぞうへ」』を開催し、当日の入館料は終日無料とし、また開館時間を夕方6時まで延長した。  
**(d) 他団体との連携**：全国美術館会議（ワーキンググループとして小規模館部会）、しまねミュージアム協議会、安来市観光協会、安来市文化協会他、文化事業団体などと連携し地域文化の振興を推進した。
11. 作品、建屋、設備機器の修復  
作品修復は、油彩画『黒牡丹』を実施した。（市負担）  
6月、業者により事務室のエアコン掃除を行った。  
7月、記念碑前通路の凹凸が、市により修復が行われた。  
AEDの契約が市から財団に代わるのをうけ、本体も11/17業者により新たに交換された。毎月の費用は、財団負担となるが、予め指定管理料に組み入れられている。  
国道から美術館への入り口に設置されている大型看板について、年度内に修復が行われた。
12. 電気料金高騰により、安来市から指定管理料として135.5万円の追加支給（4月）が決定した。
13. 職員  
**理事長** 加納二郎（学芸員）、**常務理事** 加納佳世子（名誉館長、学芸員）  
**常務理事** 千葉 潮（館長、学芸員）  
**職員** 神 英雄（参与、学芸員）、  
小藤喜美江、横山あかね、森山満ちる（以上3名 学芸員補）、安部美幸
14. 職員給与 10月分給与から、最低賃金更改により、昨年に引き続き時給を引き上げた。  
・（参考）島根県最低賃金（時間給）904円（前年度比+47円）  
・時給：925円→975円へUP。（前年度比+50円）

(別紙1)

2023年度「加納莞薔平和国際交流基金」助成金 事業報告

- 1) 経過  
募集 (前期) 2023年1月11日～3月1日  
(後期) 2023年6月1日～8月31日  
県及び県内各首長、教育委員会、市内交流センター宛ちらしを配布、また美術館ホームページでも告知した。
- 2) 助成先  
1, しろいとり@しまね実行委員会事務局様  
事業名: 映画「目の見えない白鳥さんアートを見に行く」上映会並びにアート鑑賞会事業  
事業概要: 映画を出雲市(スサノオホール)と布部交流センターで上映会。写真家・高嶋敏展氏の写真作品を白鳥さんと一緒に鑑賞会。県内在住の外国にルーツを持つ人たちとアート作品を鑑賞会、加納莞薔氏の作品を白鳥さんと一緒に鑑賞会、等を開催。  
委員会で検討の結果、助成が決定した。  
⇒ 2回の映画上映会(布部交流センター含)を開催。白鳥さんとのアート鑑賞会は加納美術館でも初めて行われた。また、外国にルーツを持つ人たちともアート作品を鑑賞する機会を設けた。
- 2, 三刀屋高等学校 JRC(青少年赤十字)部様  
事業名: 「永井隆博士 知っ得ワークシート・スタンプラリー」  
事業内容: 作成済みだったシートを印刷し、多数の方々が利用できるようないろいろな施設に置く。スタンプを配置。SNSで発信、交流する、等を実施。  
委員会で検討の結果、助成が決定した。  
⇒ 永井隆記念館他で研修会・交流会を実施。また、ワークシート・スタンプラリーの配布・掲示・発信・利用促進・交流活動をいろいろな現地で9回、SNSで通年行った。  
あと2件申請があったが、申請者より取り下げられた。
- 3) 最終助成金  
1, しろいとり@しまね実行委員会事務局様 300,000円  
2, 三刀屋高等学校 JRC(青少年赤十字)部様 142,880円
- 4) 経費  
チラシ印刷、事務手続き、寄付者返礼品等 16,875円  
助成金振込手数料 1,210円  
(3)(4)合計 460,965円は、財団本会計で処理済のため、基金口座より財団本会計へ振替する。  
(実処理は、2024.4月となる)  
但し、しろいとり@しまね実行委員会への助成金の半金150,000円は、4月の支払いとなったため、2023年度の未払金として処理する。
- 5) 寄付金  
5名 68,000円のご厚志を賜った。  
(米子市男性)5,000円 (広島市ご夫婦)10,000円 (横浜市男性)50,000円  
(伊勢市女性)3,000円
- 6) 2024年3月31日付け基金残高: 4,445,178円

(別紙2)



ANGPINROY@HAPON UNITED FOUNDATION, Inc.  
Unit 1702 Metropolitan Tower, 1746 A. Mabini St.  
Malate Manila, Philippines  
☎ (02) 8519-8720  
Email info@pinoyhap-on.com

協賛金受領書

加納美術振興財団様

令和6年3月5日

拝啓

この度は当財団の「キリノ大統領恩赦に対する顕彰碑建立計画」にご賛同とご寄付をいただきまして、誠にありがとうございます。頂戴した寄付金は大切に使用させていただきます。  
重ねてお礼申し上げますとともに、今後ともお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

敬具

¥500,000-

上記の金額を  
「キリノ大統領顕彰碑計画」の  
協賛金として受領致しました。

NPO法人 比日連合財団  
事務担当・吉永

## 2023年度展示報告

期 間 (開館日数)	タイトル名	入館者数(人) /入館料(千円) /費用(千円)	開催テーマ	実 施 状 況
4/1~5/21 (45日間)	安来市加納美術館の名品展 収蔵品カタログ①	538人 370.7千円 647.0千円	多くの収蔵品の中から、「春」をテーマに作品を展示。 これまで展示の機会があまりなかった作品も展示した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/14 アート de トーク 春日美由紀氏 (11人参加)</li> <li>・4/2、4/30、GW中 ギャラリートーク開催</li> <li>・講演会 4/23 講師・加納佳世子(参加者35人)</li> <li>・期間中の団体様: 米子・河崎公民館様(29人)、隠岐・西ノ島老人会様(9人)</li> <li>・喫茶去 4/22 講師: 村上正光氏(参加者23人)</li> </ul>
5/27~7/30 (56日間)	楽山焼の色絵 一変わりゆくもの、変わらぬもの一	1,168人 670.2千円 2548.5千円	松江藩の御用窯で、不昧公(松江藩主松平平治郎)から愛されてきた楽山焼は、江戸時代から現代まで続く伝統を守る窯。12代長岡住右衛門空郷氏は2019年に襲名。同氏の監修のもと、江戸時代から始まる楽山焼の「色絵」に注目し、釉薬や技法、絵柄の変化また不変の面白さを見ていただいた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングセレモニー: 5/27(土) 来賓・長岡空郷氏、田中市長他多数。</li> <li>・期間中の土日祝日、茶室で呈茶(点て出し)を実施し、楽山焼の茶碗でお茶を愉しんでいただいた。足立勝利氏、持木あゆ子氏の協力を得た。(参加延べ人数: 290人)</li> <li>・6/17 ナイトミュージアム開催(参加者33人)</li> <li>・6/25 講演会 講師: 長岡住右衛門氏(参加者70人)</li> <li>・7/2 アート de トーク 春日美由紀氏 (13人参加)</li> <li>・安来市内中学校平和学習: 伯太中(41人)</li> <li>・期間中の団体様: 出雲商工会議所女性部様(20人)、安来市ふるさと教育副読本研修会様(25人)、荘原コミュニティセンター様(28人)、誠道公民館様(9人)、ナイトミュージアム様(33人)、玉湯町民生児童委員協議会様(14人)、四十間堀醫様(16人)、大円会様(58人)</li> <li>・喫茶去 5/27 講師: 佐々木幹法氏(参加者27人)、6/24 講師: 武部信二氏(参加者30人)、7/22 講師: 宇山保夫氏(参加者23人)</li> </ul>
8/5~10/15 (63日間)	四國五郎展 シベリア抑留から『おこりじぞうへ』	1,564人 789.9千円 1,907.4千円	広島出身の画家・詩人の四國五郎。原爆を題材にした絵本『おこりじぞう』の原画をはじめ、シベリア抑留体験を描いた絵画、戦後の広島で平和を祈って市街に掲示した辻詩などの作品を展示。また、シベリア抑留体験者の遺品や手記を関連展示した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングセレモニー: 8/5(土) 来賓・四國光氏、秦教育長他多数。</li> <li>・8/6 講演会 講師: 四國光氏(参加者30人)</li> <li>・8/15(火) 莞菴忌 莞菴の命日・台風のため中止</li> <li>・8/20 アート de トーク 春日美由紀氏 (11人参加)</li> <li>・9/17 安来市平和のつどい 布部ふれあい体育館で開催。当日は18時閉館、入館料無料とした。</li> <li>・9/24 詩と朗読 朗読: 石原美和氏、伴奏: 歌島昌智氏(参加者55人)</li> <li>・8/5~抹茶のおもてなしを再開した。</li> <li>・安来市内中学校平和学習: 9/22、25 安来一中(120人) 10/2 広瀬中(48人)、10/5 安来三中(53人)</li> <li>・期間中の団体様: 安来市新人教員研修会様(29人)、放課後等ディサービスまわあえん様(13人)、安来市造形研究会様(13人) 長安寺第8教区寺族会様(12人)、サイドB様(16人)、日野町公民館様(17人)、ソラードの会様(20人)、北栄町婦人会様(12人)、湖山地区人権啓発推進協議会様(26人)、南部・伯耆・日吉津人権擁護委員会様(14人)、津山・ミューズの会様(6人)、鳥取明德人権推進協議会様(42人)、黒田西町なごやか会様(11人)</li> <li>・喫茶去 8/26 講師: 藤井佐市氏(参加者19人) 9/23 講師: 小藤春雄氏(参加者26人)、10/8 講師: 近藤博子氏(参加者30人)</li> </ul>
10/21~12/24 (56日間)	秋の人形展 吾郷江美子・もとつねけいこと夢をはこぶ仲間たち	1,600人 1,106.7千円 819.9千円	和紙を活かした紙塑人形作家の吾郷さん、古布に命を吹き込み、仲間とともに人形制作を行っているもとつねさん、それぞれの個性をお楽しみいただいた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングセレモニー10/21(土) 来賓・もとつねけいこ氏、吾郷江美子氏、秦教育長他多数。</li> <li>・ギャラリートーク 10/29 吾郷氏、11/5 もとつね氏、12/3 もとつね氏、12/10 吾郷氏</li> <li>・11/18 アート de トーク 春日美由紀氏(参加者9人)</li> <li>・11/19 ワークショップ 講師: 吾郷江美子様(参加者14人) 仕上げに12/10再度ワークショップ開催(参加者10人)</li> <li>・安来市内中学校平和学習: 安来二中(29人)</li> <li>・期間中の団体様: 加茂グループ様(44人)、菅原うきうきサロン様(18人)、花見地区婦人会様(10人)、朝日地区人権教育推進協議会様(14人)、邦訳本出版記念講演会(115人)、米子啓成公民館様(38人)、布部サロン様(8人)、塩冶百寿会様(33人)、こども園布部様(20人)、JA出雲女性部様(17人)、基常様グループ(44人)、城西公民館様(20人)、秋桜会様(12人)、放課後ディサービスアイル松江様(17人)、松陰ふれあい塾様(20人)、基常様御一行様(14人)、久木コミュニティセンター様(12人)</li> <li>・喫茶去 10/28 講師: 森田祐光氏(参加者23人)、11/25 講師: 小藤義春氏(参加者17人)、12/23大雪のため中止</li> </ul>
1/11~3/10 (52日間)	安来市加納美術館の名品展 収蔵品カタログ②	311人 184.8千円	安来市加納美術館の収蔵品から、選りすぐりの作品を展示する企画展の第二段。 河井寛次郎、西田明史、細田育宏、など地元出身作家のほか、日本画の小野竹喬、備前焼の金重陶陽の作品などを展示した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員によるギャラリートーク 1/14、2/11、3/10</li> <li>・1/28 アート de トーク 春日美由紀氏(参加者5人)</li> <li>・期間中の団体様: ももの会様(24人)</li> <li>・喫茶去 1/27 山脇康夫氏(参加者23人)、2/24 大東由季氏(参加者28人)、3/25 田部哲朗氏(参加者25人)</li> <li>・1/25 大雪のため休館</li> </ul>
3/16~開催中	こうげいやすぎ 壺(いち)			

【常設展 加納莞菴展】4/1~5/21「今こそ世界の平和を一莞菴の想いにつなげてー」 5/27~「戦犯赦免から70年、今私たちはー」 10/21~「キリノ大統領の赦し 莞菴の願い」 3/16~「莞菴の願いー今こそ世界平和を」



会期：4月1日～5月21日

60代  
岡山市  
男性

岡山県民でもあり、小野竹喬「湖辺」、池田遙邨「不二」には感動、そして古備前。収蔵品コレクションは、館のキャラクターを知ることにも良かったです。

30代  
雲南市  
女性

静かでもとても居心地が良かった。茶道具なども見てまわるのが好きなので、また来たいなと思いました。

70代  
安来市  
男性

日本画では小野竹喬「水辺梅花」そして色々な「富士」の姿の絵が印象に残りました。油彩画では加納莞蕾「薔薇」「梨の花」に心ひかれました。

40代  
米子市  
男性

楽山焼紹介の映像はとてもわかりやすく、作者の方の言葉が直接聞いて良かったです。

60代  
米子市  
男性

高台内がわかるように展示してほしい。ろくろの廻し（左廻し、右廻し）や、各代の違いを知りたい。押印の一覧も見てみたい。

40代  
米子市  
男性

それぞれの作家によって絵が違うためおもしろい。

50代  
松江市  
女性

空郷さんの誰ヶ袖茶碗、ぽってりと可愛らしくて見とれてしまいました。

10代  
富山県  
女性

私はまだ14才で戦争も経験してないが、作品を見ると戦争の悲惨さや戦争で亡くなられた人々のつらさというのが間近で分かったような気がします。「平和とはなんなのか」「戦争とはどういうものなのか」理解することが大切であり、これからつないでいかなければならないんだなと思いました。

60代  
広島県  
女性

このような開催は心に残り、今再び戦争・平和について考える機会として伝えていくべきと考えます。

80代  
松江市  
女性

四國五郎という名を初めて知りました。もっと広く知ってもらいたい人だと思いました。



会期：5月27日～7月30日



会期：8月5日～10月15日



会期：10月21日～12月24日



会期：1月11日～3月10日



会期：通年

40代  
松江市  
女性

吾郷さんの紙塑人形は色づけも和紙でやっていると初めて知り、驚きでした。

50代  
松江市  
女性

伝統工芸展で吾郷さんの作品を見て、他の作品も見たくて、来館しました。女性の人形しか知らなかったのが男性の人形がとてもかっこよかったです。

70代  
奥出雲町  
女性

幼い時がよみがえり懐かしい思いです。涙が出ました。表情とかよくつかめていて感心。

80代  
女性

ちりめんで作った各種飾りもの。丁寧に作ってあり根気よく作製された時間を思いました。

60代  
広島県  
女性

今までしることもなかった彫刻家、日本画ともに素晴らしい作品に出合えて来てよかった。

60代  
雲南市  
女性

備前焼の金重陶陽すべて素晴らしい。土そのものから伝わる力強さ、無釉の焼き締め陶、灰が自然釉となるその景色が自然で偶然にできたところに感動を覚える。

60代  
女性

日本画の小野竹喬さんはこれまで知らなかったのですが、明治生まれの作家さんにしてはポップな色合いでとても好感がもてました。

40代  
米子市  
女性

小野竹喬。私の好きな画家としてインプットされました。

40代  
松江市  
男性

平和の大切さを学べる施設であることを初めて知りました。子どもと共に訪れたいです。

40代  
松江市  
男性

戦犯問題は評価が難しい。興味深く拝見した。

鳥取県  
女性

戦争は自国の受けたものばかりに目がいきがちですが、戦争は人を殺すことだということ。平和とは、ゆるすことから始められること。よい気づきがありました。

70代  
米子市  
女性

莞蕾氏の絵がとてもよかったです。もっと作品が見たいと思った。

## (別紙4)

## 入館者数及び入館料収入実績書 2023年度

	入館料収入 (円)	入館者数 (人)	入 館 内 訳											イベント内容
			一般	学生	団体	身障者	他割引	他割引 (GG)	DM割	招待券	イベント	パス ポート	小人	
4月	162,650	258	57	1	0	15	68	0	17	40	35	20	5	4/23 講演会
5月	230,750	356	78	3	28	32	100	0	7	80	0	19	9	
6月	314,950	608	77	3	55	18	175	0	2	126	70	21	61	6/25 講演会
7月	333,550	484	80	3	58	28	168	0	17	65	0	16	49	
8月	181,400	402	61	4	12	28	119	0	5	89	30	18	36	8/6講演会
9月	333,000	707	118	4	0	29	190	0	3	151	55	17	140	9/24詩と朗読
10月	484,950	744	160	1	88	31	202	0	6	117	0	27	112	
11月	610,050	915	185	3	135	26	243	0	17	107	129	30	40	11/3講演会 11/12ワークショップ
12月	287,150	398	74	1	34	30	164	0	6	59	0	12	18	
1月	55,300	90	13	0	0	5	30	0	2	27	0	8	5	
2月	98,900	164	22	2	23	14	41	0	0	44	0	15	3	
3月	213,650	322	46	1	0	22	126	0	3	91	0	24	9	
合計	3,306,300	5,448	971	26	433	278	1,626	0	85	996	319	227	487	

